

<報道関係者各位>

2016年6月22日

平時にも有事にも家族の安全・安心をサポート！ZEHにも対応
「次世代レジリエンスホーム『家+X』」誕生！
6月25日(土)よりフィアスホームにて先行発売

株式会社LIXIL住宅研究所
フィアスホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所(本社:東京都江東区/代表取締役社長:今 城幸)は、このたび、北海道基準をクリアする断熱・気密性能を有し、平時には資産価値最大化、生涯コスト最小化を目指し、有事には、家族の命や財産を守ることができるレジリエンス性能を持つ新商品「次世代レジリエンスホーム『家+X』(以下、『家+X』)」を2016年6月25日(土)よりフィアスホームにて、3プラン限定で先行発売します。

LIXIL住宅研究所は、近未来の住まいのあるべき姿を考え、住宅開発に取り組み、2008年より定期的にコンセプトホームを発表しています。

東日本大震災をきっかけに『住まいの本質は、家族の命と財産を守ること』という考えに立ち返り、平時には省エネルギーで生涯コストを最小化でき、有事には家族の命と財産を守れる住宅を目指し、「レジリエンス」をキーワードに開発を進め、2015年11月に本田技研工業株式会社という異業種とコラボしたコンセプトホーム「次世代レジリエンスホーム『家+X』」を発表しました。今回、『家+X』のコンセプトをできる限り取り入れ、実売商品としました。



「次世代レジリエンスホーム『家+X』」
外観イメージ

今回発売する『家+X』は、名前がそのままコンセプトになっています。住宅市場の変化や技術革新に加え、国土強靱化や電力自由化などの新たな潮流の中で、私たち住宅会社が「家」だけを売る時代は終わりだと思っています。家と自動車、家とエネルギーなど、これまで別々で購入したり、それぞれの役割を別々に果たしていたものが有機的に結びつき、これまでにない新たな価値を生み出す、そんな考えを形にした商品です。

大きな特長は、耐震+制震構造で繰り返しの地震に強く、 U_A 値^{*1}= $0.46W/m^2\cdot K$ 以下と北海道基準を上回る高い断熱性能の省エネルギー住宅(①)、停電時でも自立可能なガスエンジンコージェネレーションユニット「エコウィルプラス」(②)、災害に強いエネルギーであるLPガスの活用(③)(①~③を組み合わせたものが「HL²スーパーレジリエンスシステム」)。さらに、水道水の循環備蓄装置の設置、太陽光発電システムを標準仕様とした“レジリエンス性能”を有している点です。

平時は高い断熱性能と太陽光発電、高効率設備で、光熱費を抑えることができ、有事には、昼間は太陽光発電で、夜間は「エコウィルプラス」とLPガスで電気を創り、約30日間電気とガスが供給可能となります。また、水道水の循環備蓄装置の設置により、大人4人で計算しておよそ3日分の飲料水を確保しています。

今回採用するHL²スーパーレジリエンスシステムは、エネルギー全面自由化を先取りするソリューションとして、省エネルギー住宅+ガスエンジンコージェネレーションユニット+地域価格連動型エネルギー(LPガス)^{**2}をセットで提供するものです。LPガス価格を抑え、太陽光発電やコージェネレーションユニットによる発電により、エネルギーを自給自足することで、地域最安光熱費を目指します。また、『家+X』は、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)対応となっています。

株式会社LIXIL住宅研究所は、住まいにおける「環境」と「安全・安心」への対応を住宅の重要課題と位置づけ、平時と有事を考え「レジリエンス」をキーワードに、次世代の住宅開発に取り組んでいます。

今後は、さらなる「レジリエンス」に関わる商品・サービスの普及・促進に努めていきます。

*1 U_A 値:外皮平均熱貫流率を指します。外皮平均熱貫流率は、住宅の断熱性能を表し、数値が小さいほど性能が高いことを表しています

*2 地域価格連動型エネルギーについては、2016年秋頃を目処に提供開始予定です

【報道関係者のお問合せ先】

株LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明
電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com

本ニュースリリースは、本日、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にて、広報発表しています。

新商品「次世代レジリエンスホーム『家+X』概要

【商 品 名】 次世代レジリエンスホーム『家+X』

【発 売 日】 2016年6月25日(土)

【発 売 ブランド】 フィアスホーム

【販 売 地 域】 全国(北海道、九州、沖縄及び一部地域を除く)

【構 造・工 法】 (フィアスホーム) 木造軸組+パネル工法

【商 品 特 長】

① 「家+自動車」

■家+EV

家で使うエネルギーを家で創る「自給自足」のエネルギーシステムと、EV(電気自動車)が一緒になって光熱費などのライフサイクルコストを抑え、環境にやさしい暮らしが可能です(図1)。

■次世代ガレージ

車庫に関する不満調査の結果を踏まえ、「雨に濡れずに車から乗り降り可能」で、車椅子でもバリアフリーで室内へ移動できる次世代ガレージを提案しています(写真1)。



〔図1〕家+EVイメージ



〔写真1〕次世代ガレージ

② 「家+エネルギー」

■北海道基準をクリアする

「高断熱構造」と「耐震+制震構造」

耐震等級3相当の耐震性と阪神・淡路大震災クラスの大きな揺れと、繰り返し起こる余震を想定した実物大実験を防災科学技術研究所にて行い、地震に対する高い安全性を実証した繰り返しの地震に強い技術を採用しています。さらに、 U_A 値^{*}=0.46 W/m²・K以下と北海道基準をクリアした高断熱構造で、地震などの災害や夏の暑さ・冬の寒さから家族と財産を守ります(写真2)。

※ U_A 値:外皮平均熱貫流率を指します。外皮平均熱貫流率は、住宅の断熱性能を表し、数値が小さいほど性能が高いことを表しています



〔写真2〕実物大実験

■「HL²スーパーレジリエンスシステム」

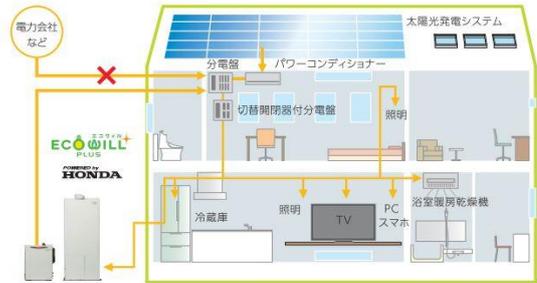
「北海道基準の省エネルギー住宅」+「ガスエンジンコージェネレーションシステム(エコウィルプラス)」+「地域価格連動型エネルギー(LPガス)※」をセットで提供する『HL²スーパーレジリエンスシステム』(写真3)により、地域最安光熱費、生涯コスト最小を目指します。

また、有事には災害に強いLPガスが、調理はもちろん、ガスコージェネレーションユニットの自家発電を使って、冷蔵庫・LED照明、テレビ、コンセントに約1kWの電気を供給することで、長期にわたる自立が可能になります(図2)。

※ 地域価格連動型エネルギーについては、2016年秋頃を目処に提供開始予定です。



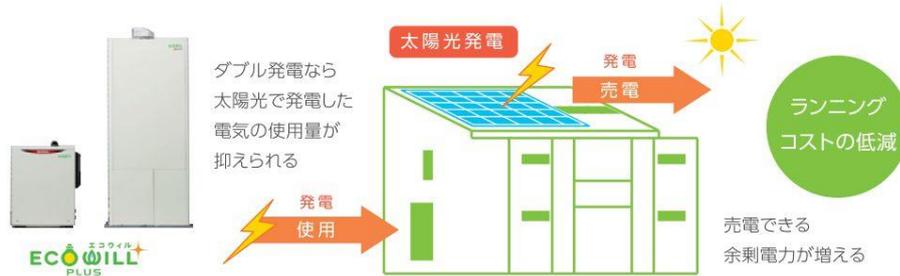
[写真3] HL²スーパーレジリエンスシステム



[図2] 有事のエネルギー自給イメージ

■ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)対応

北海道基準をクリアする省エネルギー住宅に、ガスエンジンコージェネレーションと太陽光発電システムを組み合わせた“ダブル発電”でエネルギーゼロを実現します(図3)。電力使用は、優先順位を設定し、①エコウィルプラス→②太陽光発電の順に利用することで、より省エネで光熱費削減に寄与する仕組みとなっています。



[図3] ダブル発電イメージ

■有事の備え～水の確保～

大人4人で計算して約3日分の飲料水を確保できます。万が一、ライフラインが止まっても、復旧までの間、命や健康を維持するための飲料水、生活用水を確保しています(図4)。



[図4] 水の確保

その他、2015年11月に発表したコンセプトホーム「次世代レジリエンスホーム『家+X』」で提案した輻射式冷暖房システム、調音パネル、ナノミストサウナ、色温度可変照明、コミュニケーションボードなどを標準仕様としています。

【限定プラン】

3プラン

プラン01(30坪タイプ) : 3LDK+S

プラン02(40坪タイプ) : 3LDK+S+シアタースペース+ファミリースペース

プラン03(50坪タイプ) : 3LDK+S+シアタースペース+ファミリースペース

【建物本体価格】

建物本体参考価格 : 3,510万円(税込)~

※上記価格は『家+X』の基本コンセプトを踏まえ、フィアスホームブランドの標準仕様での価格となり、プランタイプにより価格が異なります。詳細は店舗にてご確認ください。